

# 統合機器管理パッケージ PRM R3



統合機器管理(以下PRM;Plant Resource Manager)を、R3にバージョンアップしました。PRM R3はフィールド通信を活用し、フィールド機器をはじめとするプラント設備の管理を行うパッケージです。フィールド状態のオンライン監視やフィールド機器の調整が行えます。さらに、PRM R3で強化された診断機能は、保全のやり方を従来の事後保全から予知保全、プロアクティブメンテナンスへと進化させます。そして、FDT/DTM<sup>(1)</sup>とEDDL<sup>(2)</sup>の両方に対応しました。

## [主な特長]

### ■機器ベンダー提供の各種ツールに対応

オープンインタフェース機能であるFDT/DTMとEDDLの両方に対応しました。機器ベンダーの提供する機器調整や診断を行う標準アプリケーションを、PRMからリモートで実行することができます。

### ■診断機能を強化

機器から診断に必要なパラメータ情報を収集、さらにプロセス情報も利用可能で、ループや装置(ユニット)などプラント設備に関連する診断が行えます。

また、アドバンスド診断機能に、機器診断データヒストリアンを追加しました。機器診断データヒストリアンは、フィールド機器から診断に必要なデータを自動的に収集します。診断に有用なデータを蓄積することにより、お客様のニーズに合った診断アルゴリズムの開発を進めることが可能になります。

### ■Microsoft社のSQLサーバを搭載

Microsoft社の汎用データベースソフトを標準搭載したことで、データベースの活用が拡がります。データベースが製品に組み込まれたことにより、別途データベースの準備が必要なくなりました。

<sup>(1)</sup> FDT/DTM

FDT(Field Device Tool)は、オープンなデバイス管理インタフェース技術です。各種フィールド機器のパラメータ設定、調整、自己診断などを行うDTM(Device Type Manager)というアプリケーションプログラムを、統一的に扱うための技術です。

<sup>(2)</sup> EDDL

EDDL(Electronic Device Description Language)は、伝送器やバルブといったフィールド機器の特性や属性を記述する言語で、製造社名や型名、測定レンジなど機器の属性を示すために用いられます。

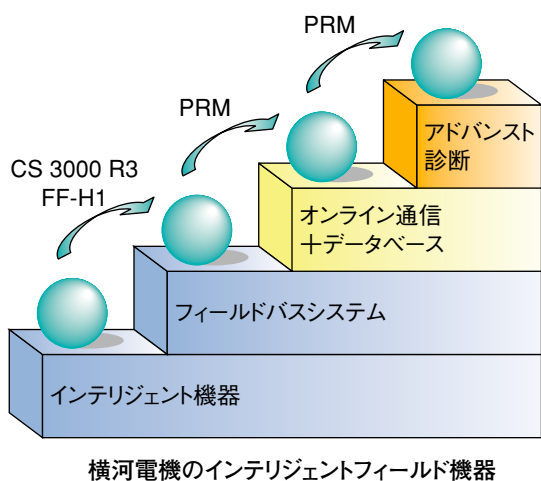
\* 'PRM' は、横河電機(株)の登録商標です。

問い合わせ先：IA事業部システム事業センター  
PAソリューション部

TEL：0422-52-5634

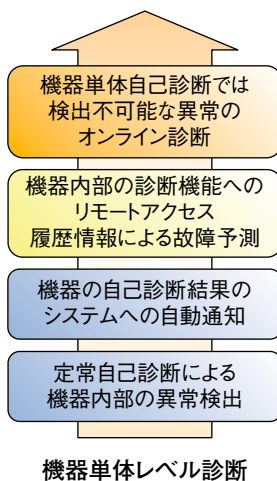
FAX：0422-52-9802

E-mail：info\_fieldbus@csv.yokogawa.co.jp

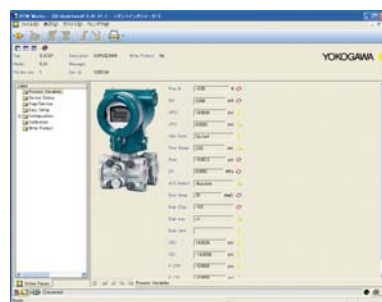


横河電機のインテリジェントフィールド機器

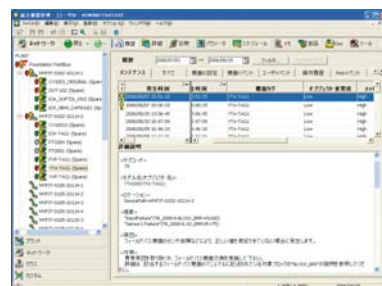
## プロセスレベル診断へ



機器単体レベル診断



DTM Works 画面



メンテナンスアラーム画面

診断の構成